

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 29 年 9 月 19 日

設置・運営主体	上尾市		
設置主体	上尾市		
経営主体	上尾市		
事業所名 (施設名)	上尾市立大谷保育所	種別	保育所
所在地	〒 362-0043 上尾市西宮下4丁目380番地の3		
電話	048-775-2550		
FAX	048-775-5877		
Email	<a href="mailto:s174100@city.ageo.lg.jp">s174100@city.ageo.lg.jp</a>		
URL			
施設長氏名	田中 典江		
調査対応担当者	田中 典江 (所属、職名：大谷保育所 所長)		
利用定員	90名	開設年	昭和 49 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p><b>上尾市立保育所の基本理念</b></p> <p>1 すべての児童が心身ともに健やかに育成されるよう努める。</p> <p>2 すべての児童の生活をひとしく保障し愛護する。</p> <p>3 保護者とともに、すべての児童を心身ともに健やかに育成する。</p> <p><b>上尾市立保育所の基本方針</b></p> <p>①乳幼児は生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であり、人として生きる力を養う。</p> <p>②子どもが健康、安全で、情緒の安定した生活ができる環境を用意し、事故を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図る。</p> <p>③養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。</p> <p>④保護者と密接な連携をとり、保育の内容等が保護者の理解と協力を得られるよう務め、子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視した保護者支援を行う。</p> <p>⑤地域における子育て支援のために、乳幼児などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	月～金 7:00～19:00 土 7:00～18:00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		
1歳児	10	15	1		
2歳児	12	18	1		
3歳児	18	18	1		
4歳児	22	19	1		
5歳児	22	21	1		
計	90	97	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		21人	
うち	保育士	17人	保健師・看護師 1人
	栄養士・調理員	2人	その他（用務員） 1人
非常勤職員数		7人（常勤換算 2.6人）	
うち	保育士	4人（常勤換算	1.9人）
	保健師・看護師	0人（常勤換算	人）
	栄養士・調理員	2人（常勤換算	1.2人）
	その他（事務員）	1人（常勤換算	0.5人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1人	非常勤： 1人
	退職	常勤： 1人	非常勤： 1人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		35歳（34歳）	
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		12年（10年）	
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

**【本来事業に併設して行っている事業】**

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	無一
延長保育	○	月額2,000円 標準1回100円 短1時間100
休日保育		
障害児保育	○	無一
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	無一
その他(事業名: )		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

**【ボランティア等の受け入れに関する事項】**

・平成 28 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

1 人

・ボランティアの業務

クラスに配属し  
 ・子どもとあそぶ  
 ・着脱補助  
 ・食事補助  
 ・清掃 など

**【実習生の受け入れ】**

・平成 28 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 13 人

**【施設の状況に関する事項】**

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	598.49 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	6.65 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	700 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	7.78 m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	昭和	49年

### 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・親子遠足、夏まつり、運動会にはアンケートを実施してすべての意見を保護者に配布している。
- ・保育参加の後、感想を記入してもらい、年度末に保護者に配布している。
- ・保育参加の後、個別に担任と話す時間を設け悩みや意見、感想などを直接聞いている。
- ・個人の連絡ノートで子どもの様子とともに意見や要望などを記入されたものを見る。
- ・保護者会の月1回の役員会で要望等を聞く。

### 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

#### エピソード記録集

・週に1枚、子どもがきらっと輝いた瞬間を保育士全員が用紙にメモして週末会議で発表しあい子どものあそび、言葉、など共有し子どもの見かたなどを学べるようにし、記録を貼り付けたノートを次週の週案を立てる用紙とともに回覧して全員が見ることができるようになっている。

#### 地域交流(情報交換会)

・地域の小学校、幼稚園、保育所と公開保育の後に情報交換会を行っている。また、幼稚園の芋ほりを年長児が招待される。

#### 安全面への取り組み

・毎月の職員会議の中で、昨年の同時期の事故、未受診、ヒヤリハットを報告し、安全な保育への意識を高めている。

### 【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

\_\_\_\_\_ 1 \_\_\_\_\_ 回 （平成 \_\_\_\_\_ 21 \_\_\_\_\_ 年度）